



元気に育った畑苗床のイ草苗

八月苗の植え付け準備 ～3つのポイント～ イグサ7月の管理

1) 圃場の準備

- ・排水が良く、入水など水管理が十分できる圃場を確保しましょう。
- ・八月苗床面積は、本田面積の1/10程度ですが、不足の事態に備えて2～3割増の植え付けを行ない、また、圃場を分筆・分散し危険回避を図りましょう。
- ・土壌分析を実施し、PH調整、適正な元肥量、土壌改良資材の投入を図りましょう。
- ・早めから耕し、十分に風化できるように努めましょう。
- ・土壌の透水性・通気性が期待できる「乾田揚床」として整地をしましょう。

2) 植え付け時期

- ・朝夕が涼しく感じる時期に植え付けましょう。8月中旬以降が基本です。
- ※ 根の生育適期は15～20℃。25℃を越えると生育が停滞します。
- ・苗を掘り取ってからは、時間をおかないように注意しましょう。過乾燥に注意が必要です。

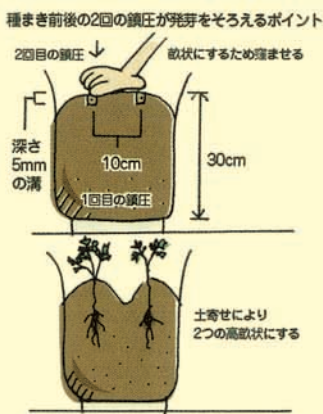
3) 畑苗の掘り取り準備

- ・畑苗は乾燥状態で生育しています。植え付け予定の1～2週間ほど前から、夕方の灌水で土壌に湿度を保ちましょう。

【効果】

- ① 新芽を若返らせる。
- ② 発根がしやすくなる。
- ③ 活着をスムーズにする。

- ※ 灌水は苗のウォーミングアップと言えます。降雨日や夕立に期待せず、自ら水管理に努めましょう。



栽培適温は20度前後なので、種まきから発芽までの時期は、春の栽培ではビニールトンネルの保温、夏の栽培ではすだれや寒冷しゃでの遮光による暑さ対策が必要です。

ニンジン



手際のできる有機ヘランダ栽培

ニンジンの品種には短根種と長根種がありますが、コンテナ栽培には短根種が適します。短根種の三寸系やミニニンジンは深さが30cmくらいあれば標準的なプランターでもでき、生育期間も短いので、春と夏の2回栽培できます。短根種の四寸系や五寸系は少し大きめのプランターを使い、夏の栽培が適します。

標準的なプランターの場合は2条(条間10cm)に、割り箸などで鎮圧しながら深さ5mm程度の溝を付けます。種が重ならないように溝底に5mm間隔で条にまきます。コーティング種子の場合は、発芽率が良いので1～2cm間隔で大丈夫です。種が隠れる程度に薄く(5mm)土を掛け、上から手で鎮圧をします。プランターの両端を窪ませて畝状にしてから、しっかりと水を掛けます。発芽するまでは乾かないように注意し、発芽後、本葉が2枚の頃2cm間隔に間引きをします。左右から土を寄せて畝状に整えます。本葉4枚の頃に株間4～5cmに2回目の間引きを行い、条間を中耕し、肩が露出しないように土寄せを行います。このときに、条間にぼかし肥料を一握りまきます。肥料はこれだけで、元肥は入れません。もし、生育後半に葉色が薄くなったら300倍程度の有機液肥を1週に1回施します。最終的な株間は、ミニニンジンでは4cm、五寸ニンジンはさらに1回間引きをして10～15cmにします。

土の表面に亀裂ができて始めるとそろそろ収穫の時期になります。大きい物から順に収穫し、抜いた跡はしっかりと土を寄せておきます。

明治大学特任教授 ● 佐倉朗夫



獅子座
7/23～8/22

♥全体運♥ 強引に物事を推し進めるのには不向き。周囲との調和を大切に、時にはサポートに徹して。気晴らしには水辺へ

♥健康運♥ リラックスして過ごしたい月。深呼吸◎
♥幸運を呼ぶ食べ物♥ キュウリ